



台風なう

夏期講習の報告

■夏期講習報告

7月21日から8月26日まで夏期講習を行いました。今年のテーマは「苦しむ夏」。自信は苦しんだ経験から生まれる、そう考えたからです。この夏のがんばりを無駄にしないように、受験生はあと半年、中学1、2年生は中間テストに向けて頑張りました！

■塾内テスト(希望制)

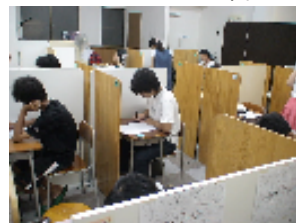
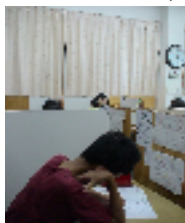
まず初めに行ったのは中三対象の5科目のテスト。入試形式の問題でしたが結果は散々。ただ、解説をすると「ああ、そうやって解けばよかったのか」と答え方、考え方がよく分かっていなかったという事が良くありました。

■集団授業「パズルをみんな

でやってみよう」(希望制有料) 夏休み前半に小学生の総合科で行っているパズルを中学生もやりました。目的は一つの事にじっくり集中する力をつける事。数学、国語などに関わる力です。狙い通り多くの子が集中してたので「普段の勉強と何が違うの？」と聞いたら



→左吉岡君 右渡瀬君
「林さん 秦さん 鴨井さん パズルなう



「だってパズルは遊びじゃん。勉強とは違うよ」との事。遊びのつもりでやってはいなかったのですが勉強も遊びのように間違って怒られずに自分の好きなように取り組む

ことが大切だと気づかされました。これからの我々の指導に活かしたい所です。

また今回パズルをやった生徒には難しいパズルを解いたという事を自信につなげて欲しいと思います。学校で学ぶ勉強で難しい所も同じくらい時間をかけて、じっくり考えて欲しい。それが出来るようになることが、今回の授業の成果だと思っています。

■覚えるまで帰れない会

(受験生対象希望制)

「暗記の方法を教えてください」
「さう聞かれる事がありません。でもテクニクを知っても実際覚えるかは気持ち次第ですよ。なのでゲームのような感覚で「覚えなきゃ」と思うようなイベント、「英単語覚えるまで帰れない」という会を開きました。



吉岡君 竹下君
市原君
頭抱えてんな

最も遅くまでいた子は午後11時20分！正直疲れました…。

みんな苦しそうで、でも意外と集中。そして覚えきった時の本当に嬉しそうな表情。はじける汗、それが青春。

でも「またやる？」と聞いたら「もういいです」の声…。

と、まあいろいろあった夏休みでした☆

事務員便り

八月にスタディールームで実施された漢字検定に私も挑戦しました。

挑戦すると決めた日から久しぶりに試験勉強をしてみると、生徒の気持ちがよくわかりました。

問題がスムーズにできると楽しくなって勉強も進むけれど、分からない問題が続くとイヤになり、それでも我慢して勉強していると眠くなる。そしてやらなくなってしまう(笑)

生徒の顔が次々と浮かんで「みんながんばっているなあ」と見直しました。

お父さん、お母さん来年受けてみませんか？

さて、その試験結果は？

一カ月後！



授業終了があいまい

「覚えるまで帰れない会」のように授業にゲーム性をという事で、理科社会など暗記系の授業の最後にテストを行う事にしました。

「全部できるまで帰れない」ので授業終了時間が、少し早くなったり遅くなったりあいまいになります。

他の科目もそうした傾向が出てくる可能性があるので「了解下さい」。

小学生総合科その後

今年の3月から小学生の授業がリストアップしました。

内容としては計算パズル音読・言葉調べ・文章問題・作文とこちゃこちゃですが、一番の目的は学力をつけること。

先取り学習などで、点数だけとるという学力ではなく、物事をじっくり考える力という意味での学力です。

パズルに関しても大人もできないレベルができる子。こんなのできるかとこちらが思っても果敢に取り組む姿に成長を感じています。また最初は「こういうの嫌い」と言っていた子も、少しずつ考えられる時間が延びています。

また音読も大切にしています。ちよつとした読み間違いをする子は、ミスも多いのです。「ミスに気をつけなさい」と言うより、正確に読み取る力つける方がいい。その為にも音読は有効です。



磯部君 音読中

通知表、点数にすぐに表れるのではなく、パズル、音読など遊びのように捉えられてしまうかも？と思えますが保護者の方に理解していただけて取り組むことができています。

「これからの二学期は繰り返すこと、また作図の力にも取り組んでいこう」と思っています。

名言 至言

試験は何のために与えられると思う？
もっと強く大きくなる為だろうか？

吉岡十剣の筆頭 植田良平の言葉です。これから受験、それ以外でも部活、人間関係などで立ち止まった時、思い出して下さい。